



2号館も1号館と同様に古い商家を再生して使用している



2号館内のガラス工房



実行委員会のメンバーによる再生作業

16 城下町活性化施設「びれっじ」



高島町は、織田信澄が築城した大溝城の城下町として栄えてきた歴史があり、現在もそのたたずまいを感じさせる商家の街並みが残されている。しかし、近年はこうした商家も後継者不足などにより、使われなくなった店舗も目立つようになってきた。そのため、地域の活性化を図ることを目的に、城下町活性化施設「びれっじ」の整備が行われた。

施設として使用されている建物は、建築後百五十年と二百年を超える二つの旧商家を再生させており、白壁と格子戸、うだつなどを残しながら、往時の雰囲気を出している。

一号館は、母屋を民芸物産品の展示販売施設とギャラリーに、隣接する納屋は高島町がアイランドと交流活動を行っていることから、アイランドの物産品の販売などを行っている。また、二号館では、町内のアーチストにより染色工房やガラス工房が運営されており、訪れた人が気軽に創作活動を行うことができる体験工房になっている。

整備にあたっては、びれっじ運営委員会が地域住民によって結成され、参加者が改修工事も行っており、高島町の指針にもなっているチャレンジするまちづくりで、自らが地域をつくり上げていくことにもつながっている。

開設後は、観光客などに親しまれる施設としてにぎわいをみせており、施設を使用して多彩なイベントも開催されている。

DATA・BOARD 16

- ① 滋賀県高島郡高島町勝野1320・1400
- ② 延床面積：455㎡
- ③ JR湖西線近江高島駅から徒歩約10分
- ④ 街角ふれあい交流広場、勝安寺、萩の浜、大溝城址ほか
- ⑤ 大溝まつり写真コンクール(5月)、落語会、コンサートなど

